



令和5年度 ヴェルディ八戸ノ里事業方針について

平素よりヴェルディ八戸ノ里の事業運営に多分なるご理解、ご協力をいただき誠にありがとうございます。新年度も引き続きご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

さて、3年以上に及んだ新型コロナウイルス感染症への対応もピークを越え、以前の生活を取り戻すために、ご入居者の生活も徐々に制限の緩和をすすめています。

この度は、くろがねもちの紙面をお借りして、「令和5年度ヴェルディ八戸ノ里事業計画」の一部をご案内させていただきます。

法人理念「人間が人間らしい生活を過ごせることに貢献します」

① サービスクオリティの維持・向上

当事業のサービスに関わる全てのスタッフが、ご利用者やご家族にとって身近で信頼のおける関係づくりに努力します。そのために、スタッフはサービスに必要な知識、技術、倫理観を高めるために各種研修や個別の年間目標に基づいて自己研鑽に努めます。

② 多様な人材の確保と育成

ヴェルディ八戸ノ里の運営するサービスには、介護、看護、社会福祉、障害福祉、リハビリ、栄養管理、専門事務など様々な専門職が所属しています。このような人材の高度な技術を維持するだけでなく、さらなる人の確保も重要です。高いサービスの質と働きやすい職場環境を両立するために、ICT（情報通信技術）の導入に取り組みます。インカムの導入や眠りスキャン（睡眠覚醒状況を把握）といった機器は、速やかな健康観察や業務効率などに活用します。

ヴェルディ八戸ノ里 施設長
植北康嗣



2月3日に節分行事を行いました。今年には2階と3階別の出し物で、皆一生懸命豆を投げ厄除けとストレス発散になりました。

2ABお花見



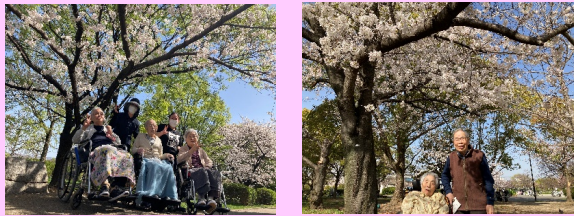
お花見に
行ってき
ました



2CDユニット 誕生日会



お誕生日おめでとうございます！
皆様にお祝いして頂きとても喜ばれていました。



八戸ノ里公園へ
お花見に行ってきました～！
いいお天気ね～！綺麗～！とのお声が



3ABお花見



3CDお花見

3月3日はひな祭り

毎年ボランティアさんが飾ってくださいます。光庭からの日差しがポカポカと雛日和でした。



眠りSCAN 導入！

特養で、眠りSCAN の運用が始まりました！

眠りSCAN とは、ベッドのマットレスの下に敷くだけで、体動などの微弱な振動を捉えて、入居者様の心拍や呼吸数、睡眠や覚醒、起き上がりや離床などの状態を、リアルタイムでモニタリングする見守り支援システムです。

体調変化を素早く確認出来る他、睡眠パターンに合わせて起床やトイレのお声掛けができ、睡眠の質の改善も期待できます。



デイサービスセンター もえぎ お花見に行って来ました♪



今年は3年ぶりにお花見を開催!! 満開の桜の花を愛でて楽しみました

ヘルパーステーションおけいふ



ヘルパー会議で移乗の研修を行いました。

介助者もご利用者様も負担なく安全に移乗できるようにこのような研修を行っています♪

気付きもあり日々のサービスに活かしたいと思えます!!

ケアプランセンターヴェルディ永和

障害福祉サービスの中には就労継続支援B型があり、最近では就労支援B型と生活介護が一つの事業所の中で行われる多機能型事業所があります。

例えばカフェの就労継続支援B型ではご利用者様がお店の開店準備、クロワッサン生地を仕込み、成形、サンドイッチ作製したりと本格的に行われています。来店客への接客、レジ清算等も行われており、地域の方々との交流やコミュニケーションもできます。就労支援B型の為、工賃支給もあります。今後もこのような多業種の就労継続支援事業所が広がり、ご利用者様が得意分野の仕事に就ける機会が増えていくのではと思います。



地域包括支援センター

『みまもり』ネットワークについて



地域包括支援センターは、地域のみなさんや民生委員、警察、消防署、医療機関、民間企業などと協力して、地域の高齢者等を見守るネットワークづくりに努めています。各専門職が高齢者等の困りごとなどを早期に発見し、地域包括支援センターに報告します。報告を受けた地域包括支援センターは適切な機関と連絡を取り合い、問題解決の支援をして、高齢者等のみなさんが安心して暮らしていける地域づくりに努めています。身近な高齢者等の困りごとや異変などに気付かれたら、お気軽にご相談下さい。

次回の

くろがねもちの発行は

8月頃の予定

です!

特別養護老人ホーム
ヴェルディ八戸ノ里

〒577-0803
東大阪市下小阪
4丁目7番36号



ホームページ



Instagram

令和4年度 大阪老人福祉施設研究大会

令和5年2月、大阪老人福祉施設研究大会に特養が参加し、「ヴェルディ八戸ノ里でのICTの導入により得られた結果とその考察」というテーマで発表しました。

特養ではWi-Fiの整備やインカム、タブレット端末、眠りSCANなど情報通信機器の導入を進めて、業務の効率化や生産性の向上、利用者様のケアの質の向上に繋げていきます。

